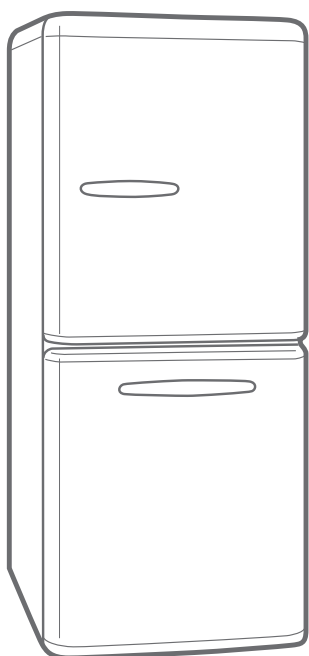


冷凍冷蔵庫 (家庭用)

ANG-RE151-B1 (W/G/R/K)

取扱説明書

このたびは、冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読み
のうえ、正しくご使用ください。
とくに『安全上のご注意』は必ずご使用の
前にお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してい
ただき、取り扱いのわからないときや、不具合
が生じたときにお役立てください。



もくじ

- 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・1～2
- 据え付けるときには・・・・・・・・・・・・・3
- 各部の名称・・・・・・・・・・・・・4
- 上手な食品の入れ方・・・・・・・・・・・・・4
- 使い方・・・・・・・・・・・・・5～6
 - ・使いはじめの順序
 - ・温度調節について
 - ・自動霜取について
 - ・氷の作り方
 - ・おことわり
- 知っておいていただきたいこと・・・・・・6
 - ・長期間使用しないとき
 - ・停電のとき
 - ・一度電源を抜いたとき
 - ・転居のとき・置き場所をかえるとき
- お手入れについて・・・・・・・・・・・・・7
 - ・冷凍ケースのはずしかた
 - ・蒸発皿の取り付け方
 - ・お手入れ後の安全点検
- 修理サービスを依頼する前に・・・・・・8～9
 - ・故障ではありません
 - ・運転中の音について
 - ・不良ではありません
 - ・故障かなと思ったら
 - ・修理料金のしくみ
 - ・廃棄時にご注意願います
- 修理サービスについて・・・・・・・・・・10
 - ・ご相談窓口
 - ・修理窓口
- 仕様・・・・・・・・・・・・・裏表紙

愛情点検

長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を！！



ご使用の際、
このような症状は
ありませんか？

- ・電源プラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
- ・電源コードに深い傷や変形がある。
- ・こげ臭いにおいがする。
- ・冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ・製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ・その他の異常、故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この家庭用冷凍冷蔵庫は、冷蔵室に食品、冷凍室に冷凍食品を貯蔵するためや製氷するために使用するものですので、本来の用途と異なるご使用は絶対にしないでください。本来の用途と異なるご使用により生じた故障・修理・事故その他の不具合および庫内の物品の損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。また、冷凍冷蔵庫を過信しないでください。冷蔵室はもちろん冷凍室に貯蔵しても時間の経過にともない食品の品質が低下しますので、早目に使い切るようにしてください。

お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ず守っていただくことを説明しています。

■誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記は絵記号の一例です。)



警告

取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。



この記号は、してはいけない『禁止』内容です。



この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

電源プラグやコードは



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

●感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、はさみこんだり、加工したりしない。

●電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグを本体で押し付けない。

●傷つき、過熱・火災の原因になります。



交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う。

●他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火する原因になります。

定期的に電源プラグに付いたホコリを乾いた布で拭き取る。

●火災の原因になります。

電源コードを下向きにし、電源プラグを根元まで確実に差し込む。

●感電や発火の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

●感電やショートして発火する原因になります。

長期間で使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

●絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
ぬれた手で抜き差ししない。

●感電やケガの原因になります。



お使いのときは



分解禁止

改造は絶対にしない。また、修理技術者以外の人、分解したり修理しない。

●火災・感電・ケガの原因になります。

●修理は、お買い上げの販売店またはエディオンサービスセンターにご相談ください。



禁止

医薬品や學術試料を入れない。

●家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

脱臭器などの電気製品を入れない。

●感電や引火、爆発の原因になります。

本体や庫内に水をかけない。

●電気絶縁が低下し、感電・火災の原因になります。

冷却回路(配管)を傷つけない。

●可燃性冷媒を使用しているので、冷媒が漏れると発火、爆発の原因になります。冷却回路(配管)を傷つけたときは、火気を避け窓を開けて換気し、販売店にご相談ください。

引火しやすいものは入れない。

・接着剤、エーテル、ベンジン、LPガス、工業用アルコール、ライターのボンベなど、揮発性や引火性のあるものは貯蔵しない。

●引火や爆発する危険があります。

本体の上に重量物や不安定な物を置かない。

●ドアの開閉で落下し、ケガの原因になります。

お使いのときは



禁止

可燃性スプレーを
近くで使わない。

- 引火や爆発する危険があります。



ドアにぶらさがったり、乗ったり
重みをかけない。

- 本体が倒れたり、手をはさんだりして
ケガの原因になります。



禁止

子供を冷蔵庫で遊ばせない。

- 事故やケガの原因になります。

乳幼児や援助を必要とする方は付き添いなしでは
使用しない。

- 事故やケガの原因になります。



都市ガスなどの可燃性ガスが漏れたら、本体や
コンセントには手を触れず、窓を開けて換気する。

- 引火や爆発し、火災ややけどの原因になります。

異常・故障のときには



次の異常や故障が見られるときは、電源プラグを
抜き使用を中止する。

- ・電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・焦げ臭いにおいがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。

すぐにお買い上げの販売店またはエディオンサービスセン
ターへ点検・修理を依頼してください。

- 感電・火災・故障の原因になります。

設置するときには



禁止

湿気の多い場所、水気のある場所で使うときは、
アース（接地）・漏電遮断器を取り付ける。

- 故障や漏電のときに感電する原因になります。
- アース・漏電遮断器の取り付けは販売店にご相談ください。



禁止

本体の上に水を入れた容器を置かない。

- こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電し、火災や
感電の原因になります。

水がかかる場所に据え付けない。

- 絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

本体の周囲は、すき間をあけて据え付ける。

- 冷媒が漏れると滞留し、発火や爆発の原因になります。



水平で丈夫な場所に据え付ける。

- 不安定な場所は、ドアの開閉などで本体が倒れる原因
になります。

地震にそなえて転倒防止処置をする。

- 本体が転倒し、ケガの原因になります。

廃棄・リサイクルするときは



本体をリサイクル処理などのために保管する場
合は、必ずドアパッキンをはずす。

- ドアが密閉され、幼児が閉じ込められると危険です。

廃棄するときは、販売店や市町村に適正に引き渡す。
(家電リサイクル法)

- 放置すると冷媒漏れによる発火・爆発の原因になります。

⚠ 注意

お使いのときは



接触禁止

冷凍中の食品、金属製の容器、氷などをぬれた手で
触れない。

- 触れると離れなくなり、凍傷の原因になります。



禁止

冷凍室にビン類を入れない。

- 中身が凍って割れ、ケガの原因になります。

食品はガラストレイからはみ出さないように置く。

- ボトルポケットなどに貯蔵しているビン類などが引っ掛かって
落下し、ケガの原因になります。

異臭がしたり、変質した食品は食べない。

- 腐敗により、病気の原因になります。

ハンドルに重い物をぶらさげない。

- 変形や故障の原因になります。

ドアにシールやマグネットなどを貼り付けない。

- 傷や汚れ、変色の原因になります。

ドアを開け閉めするときは



禁止

ドアの開閉時は周囲に注意する。

- 手や指をはさんで、ケガの原因になります。
- ドアの接触で物品の損傷などの危険があります。

ドアを強く開閉しない。

- 食品の落下でケガの原因になります。

お手入れするときは



接触禁止

本体の下に手を入れない。

- 清掃するときなど、本体の下に手を入れると鉄板などによるケガ
の原因になります。

本体背面下部の機械部分(圧縮機など)に手を触
れない。

- 運転中・運転停止直後は高温のため、やけどの原因になります。



禁止

お手入れのとき、アルカリ性または弱アルカリ性
の台所用洗剤、金属たわし、みがき粉、ベンジン、
酸、シンナー、熱湯などは使わない。

- 変形・故障・火災・やけどの原因になります。



ガラストレイやポケットなどの取り付け、取りはず
しは確実に行う。

- 取り付けが不十分だとはずれて落下し、破損やケガの原因にな
ります。

移動・運搬するときは



移動・運搬するときは、必ず2人で前面下部と
背面上部を持つ。

- 他の場所を持つと、手が滑ってケガの原因になります。
- 底面を持つと、鉄板などでケガの原因になります。
- 無理な移動は、床を傷つける原因になります。

※移動の前に食品を取り出し、電源プラグを抜いてから蒸発皿の
水や製氷皿の水や水を捨てる。

※横積みをしてはならない。故障の原因になります。

据え付けるときには

据え付け場所について

床が丈夫で水平なところ

- 不安定な据え付けは、振動や騒音および本体の転倒の原因になりますので、床が丈夫で水平なところに据え付けてください。
このとき電源コードをはさみこまないようにしてください。
本体底面の調節脚を回し、高さが水平になるように調節してください。
- 熱による変色防止のため、じゅうたん、たたみ、塩化ビニル製の床材には、床の上に丈夫な板を敷いてください。

風通しのよいところ

- 右図のように本体の周囲にすき間をあけて、放熱をよくしてください。放熱がわるいと冷却力が弱まり、電気代が多くなります。

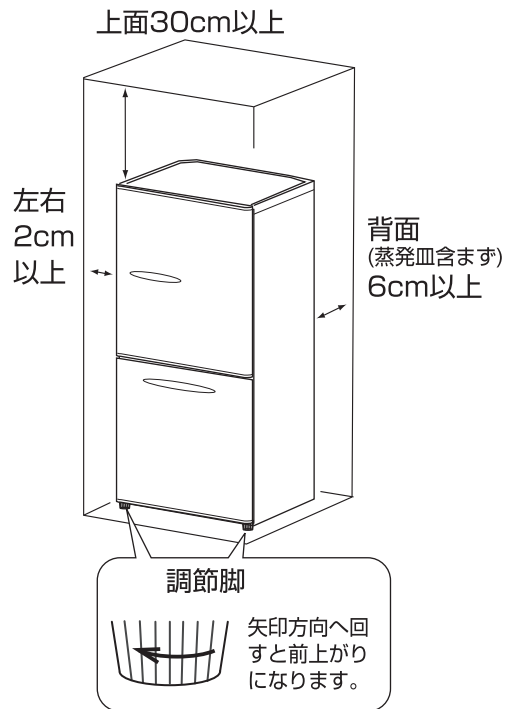
熱気・湿気の少ないところ

- 直射日光やエアコンの温風があたるところ、発熱器具(コンロ、ストーブなど)の近くは冷却力が低下します。

注意

サビやすい場所に設置する場合は・・・

腐食性ガスが発生しやすい温泉地や工業地帯、塩分の多い海岸地帯などでは、配管パイプが腐食し、冷えなくなることがあります。(保証対象外(外部要因))

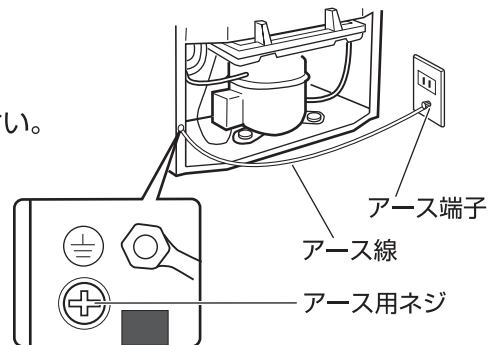


アース・漏電遮断器について

万一の感電事故防止のために、アース(接地)することをおすすめします。

(製品にアース線は付属しておりません。)

- アース線を使い、本体背面で下部左側のアース用ネジとコンセントのアース端子に接続する。
- アース端子がない場合
お買い上げの販売店に依頼し、D接地工事(有料)をしてください。
- 水気や湿気の多いところに据え付ける場合
土間・洗い場・地下室など特に水気や湿気の多い場所で使うときは、アース(接地)の他に漏電遮断機の設置が義務付けられています。お買い上げの販売店にご相談ください。



※次のところには、接続しないでください。

- 水道管(配管にプラスチックが使われておりアースになりません。)
- ガス管(爆発や引火の危険があります。)
- 電話線や避雷針のアース線(落雷の時に危険です。)

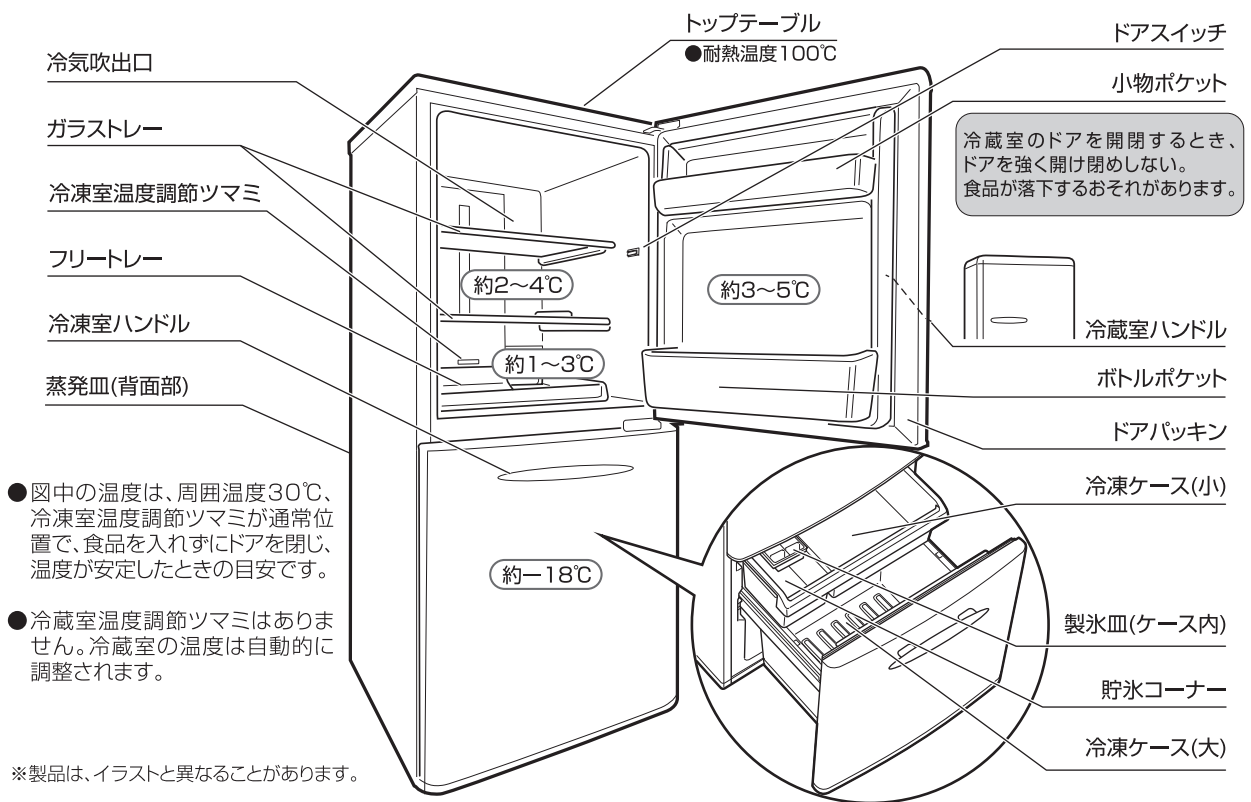
※本体はイラストと異なることがあります。



警告

水気や湿気のある場所へ据え付ける場合、アース・漏電遮断器を取り付けてください。故障や漏電のとき、感電するおそれがあります。

各部の名称



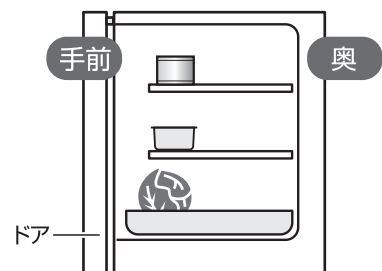
庫内温度は、場所によってそれぞれ異なります。食品によって、適切な場所をお選びください。

注意

庫内の奥は冷気の吹き出しなどで温度下がります。
水気の多い食品は庫内の手前に置いてください。
(水気の多い食品：豆腐、葉野菜など)

ビン・缶は破裂しないよう、庫内の手前かボトルポケット
に置いてください。

周囲温度が5℃以下では、冷蔵庫内の食品が凍ることが
あります。



上手な食品の入れ方

ポリ袋やラップに包むか、
密閉容器に入れてください。

- におい移りや乾燥を防ぎます。



熱い物は冷ましてから入れてください。

- 庫内の温度が上がるので、他の食品にわるい影響を与え、
電気代が多くなります。

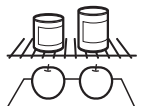
ドアの開閉は、手際よくしてください。

- ドアを長い間開けたままにすると、
冷気が逃げてしまいます。



すき間をあけてください。

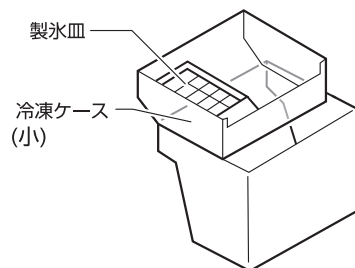
- つめすぎると、冷気の循環がわるくなり、
冷え方が弱くなります。



使い方

使いはじめの順序

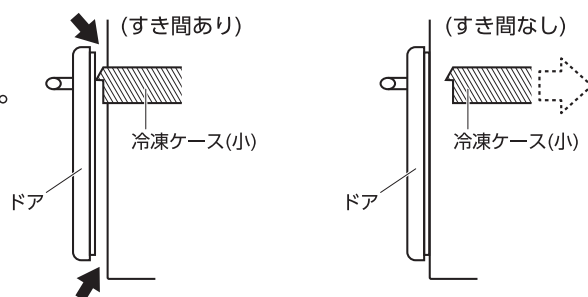
1. やわらかい布に水を含ませ、絞った後に庫内をきれいに拭いてください。
2. ガラストレーにある製氷皿は、冷凍ケース(小)の左に置いてください。
・氷の作り方は6ページをご確認ください。
3. 電源プラグを専用のコンセント(100V)に差し込んでください。



お願い

電源プラグを抜いたときは、すぐ差し込まずに6分待ってから差し込んでください。

4. 約2～3時間運転し(夏場は約10時間)、庫内が冷えたことを確認してから食品を入れてください。(庫内が冷えるまではなるべくドアを開けないでください。)
5. 冷凍室のドアを閉めるときは、先に冷凍ケース(小)を押し込んでください。
ドアにすき間ができると、冷気漏れが続きます。



温度調節について

庫内温度は、冷蔵室温度を基準に自動で温度調節しています。
冷凍室の温度は、冷蔵室奥の冷凍室温度調節ツマミで調節できます。

冷凍室温度調節ツマミについて

冷凍室温度調節ツマミの操作で、冷凍室と冷蔵室の冷気風量の割合が変わります。
ツマミ『強』は、冷凍室の冷気風量が増え、冷凍温度を下げるスピードが早くなります。
ツマミ『弱』は、冷凍室の冷気風量が減り、冷凍温度を下げるスピードが緩やかになります。

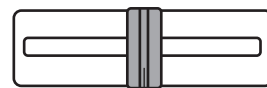
通常は

温度調節ツマミを『通常』の位置でお使いください。

冬期は

周囲温度が低く(約10℃以下)、冷凍室の冷えが弱いと感じた場合は『強』にしてください。

冷凍室温度調節
強 ■■■■ 通常 弱



冷凍室温度調節ツマミ
(冷蔵室にあります。)

注意

- 冬期以外は、かならず『通常』にもどしてください。
夏場『強』で使用すると、冷蔵室の冷えが弱くなります。

※製品の仕様により、周囲の温度が約5℃以下になると、冷凍室が十分に冷えません。製品の不具合ではありませんので、冬期に冷凍室が冷えていないと感じる場合は、設置場所の見直しをしてください。

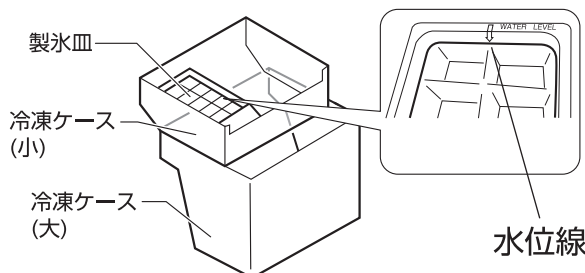
自動霜取について

- 自動で霜取りをしますので、食品を取り出す必要はありません。
- 霜取り水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。

氷の作り方

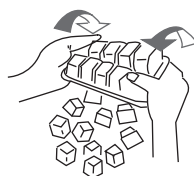
1.氷を作るとき

製氷皿に水位線まで水を注ぎ、冷凍室内の冷凍ケース(小)の左に置いてください。



2.氷の取り出し方

製氷皿の両端を持って裏返し、軽くひねって氷をとります。



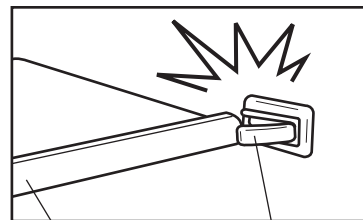
※ご注意

製氷皿は図のような方向へ、ムリに曲げないでください。割れることがあります。



安全注意

- 使いはじめはドアを開けた時、構造材などのにおいがすることがありますが、ご使用するにしたい消えますので、そのままお使いください。
- 使いはじめや起動時は圧縮機音が少し大きくなります。
- トップテーブル(天面)上に、オーブントースターなど外側が100℃を越える物を置いて使わないでください。トップテーブルはプラスチック製(耐熱温度100℃)のため、熱により変形・変色します。
- 電子レンジをのせて使う場合は、電子レンジの取扱説明書に書いてある放熱スペースなどの設置条件や、使用上のご注意、安全上のご注意を確認のうえ、ご使用ください。脚間の外側寸法が、幅370mm、奥行き350mm以内の物が置けます。(耐荷重 30kg)
- 食品やガラストレイをドアスイッチに当てないでください。ドアスイッチが破損するおそれがあります。



ガラストレイ

ドアスイッチ

知っておいていただきたいこと

長期間使用しないとき

- 庫内を清掃した後、2～3日間ドアを開けて乾燥させてください。(カビやにおいを防ぐためです。)

停電のとき

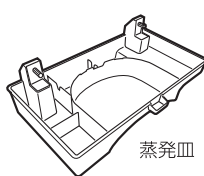
- ドアの開閉を少なくしてください。また、新たな食品の保存を控えてください。

一度抜いた電源は すぐに差し込まない

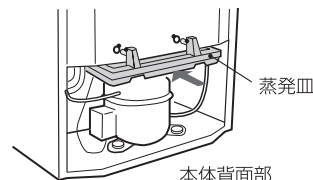
- 圧縮機に負担がかかり、故障の原因になります。すぐ差し込まずに6分待ってから差し込んでください。

転居のとき・置き場所をかえるとき

- 故障の原因となりますので、横積みはしないでください。
- 電源周波数の切り換えは不要です。(50/60ヘルツ共用)
- 移動の前に電源プラグをコンセントから抜いて、背面の蒸発皿の水を捨ててください。



蒸発皿



蒸発皿

本体背面部

- 詳しい取り付け方は、7ページのお手入れのポイントを確認してください。

ご注意

蒸発皿は、確実に取り付けないと異音要因になります。蒸発皿を付け忘れると、水もれ要因になります。

お手入れについて

お手入れの方法

いつも清潔にお使いいただくために、
定期的にお手入れをしてください。



警告

必ず電源プラグを抜いてください。
感電することがあります。

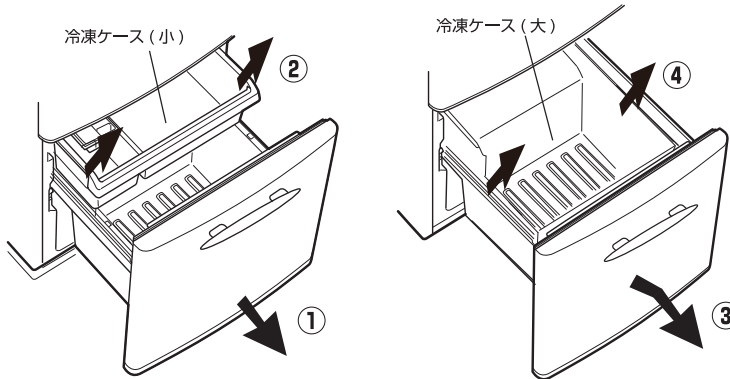
- 本体・庫内・ドアパッキンの汚れは、やわらかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、ぬるま湯か中性洗剤を布に含ませ拭きとってください。
中性洗剤をつかった場合は、水を含ませた布で完全に拭きとり、さらに乾いた布で拭いてください。
- 付属品の汚れは、水洗いをし、乾いた布で水分を拭きとってください。
- アルカリ性または弱アルカリ性の台所用洗剤、金属たわし、みがき粉、ベンジン、酸、シンナー、熱湯などは使用しないでください。
塗装面や樹脂部の変色、あるいは変質のおそれがあります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり、塗装がはげたりすることがありますのでご注意ください。

お手入れのポイント

- 庫内…食用油などがついたままですと、プラスチックが割れることがあります。

冷凍ケース(小)・(大)のはずしかた

- ① ドアを開ける
- ② 冷凍ケース(小)を持ち上げて取り出す
- ③ ドアを引き出し少し持ち上げて床に置く
- ④ 冷凍ケース(大)を持ち上げて取り出す

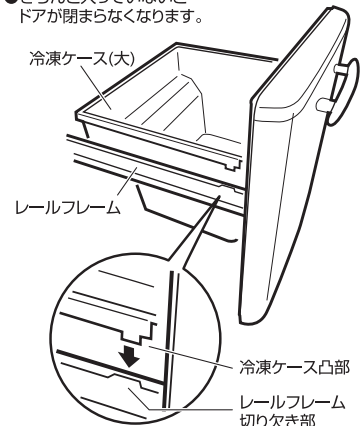


冷凍ケース(小)・(大)の取り付けは、
はずしかたの逆の手順で行ってください。

ご注意

冷凍ケース(大)手前左右の凸部をレールフレームの
切り欠き部に入れてください。

- きちんと入っていないと
ドアが閉まらなくなります。



●ドアパッキン

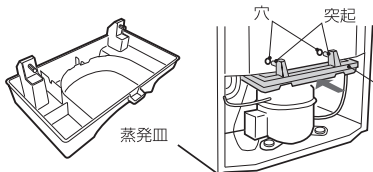
ジュースや食品の汁などがついたままにすると、早く傷みます。ドアパッキンと接する本体側の前面周辺部分も忘れずに清掃してください。

●蒸発皿(うしろ側にあります)

通常、お手入れは必要ありませんが、蒸発皿の中にホコリが多く溜まっている場合、蒸発皿をはずし手洗いしてください。

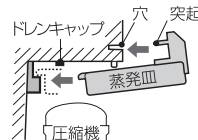
ご注意

蒸発皿を取り付けるとき、下図のように確実に挿入固定してください。
挿入固定がゆるいと、異音や水漏れの発生原因になります。



・ドレンキャップに
あたらないよう注意して
取り付けてください。

・取りはずす時も同様に
ドレンキャップに
あたらないよう注意して
取りはずしてください。



・蒸発皿の突起をすき間がないよう
に奥まで押し込んでください。



お手入れ後の安全点検

- 電源コードに、亀裂やすり傷がありませんか？
- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にホコリが付着していませんか？

注意

■圧縮機や配管に手を触れないでください。

運転中や停止直後の圧縮機や配管は、高温になっていますのでやけどやケガのおそれがあります。

修理サービスを依頼する前に

故障ではありません

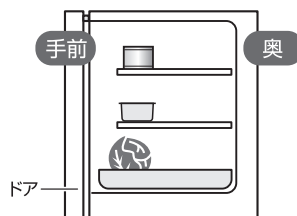
■下記の内容は故障ではありませんので、ご注意ください。

冷蔵庫の
側面が熱い

庫内の熱を側面から放熱し、庫内を冷やし露付きも防止します。
使いはじめや夏場は、側面が約50℃～55℃になることがあります。
かなり熱く感じますが、安全および性能上に問題はありません。
(※庫内食品への影響もありません。)

冷蔵室の
食品が凍る

庫内の奥は冷気の吹き出しなどで温度下がります。
水気が多い食品は庫内の手前に置いてください。
(水気が多い食品：豆腐、葉野菜など)



冷蔵庫の
外側に露がつく

ビン・缶は破裂しないよう、庫内の手前かボトル
ポケットに置いてください。

梅雨時など湿度が高いとき、外側に露がつくことがあります。
これは、冷水を入れたコップのまわりに水滴がつくのと同じです。
露は、布で拭きとってください。

運転中の音について

■運転中には次のような運転音がします。

設置環境によっては、音が大きく聞こえることがありますが、異常ではありません。

『ポコポコ』
『ピチピチ』など

冷却装置内を流れる冷媒(ガス)の音です。

『シャリシャリ』
『キーン』など

圧縮機が動作する音です。運転開始時や夏場は音が大きくなります。

『ブーン』など

冷気を循環させる為にファンが回転している音です。

『ヒューン』
『ウィーン』など

ファンの回転開始時、停止時の音です。

『ピシッ』
『パシッ』など

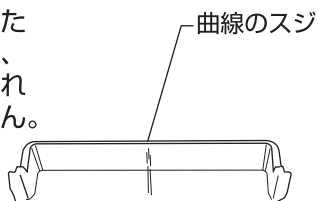
温度変化により、庫内が収縮、膨張をくり返すためです。

不良ではありません

※次のものは生産上の不良ではありません。ご安心してお使いください。

●プラスチック部品のヒビや傷のようなスジ。

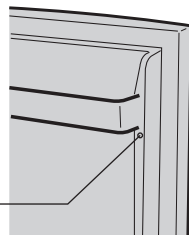
部品成型時に注入された
樹脂材料の合流箇所や、
金型の接合部です。割れ
に至ることはありません。



●ドア内側の小さな穴。

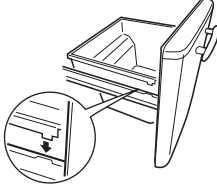
ドアの断熱材発泡工程に
おいて内部の空気を抜く
ために設けられた穴です。

空気抜き穴
(数カ所あります)



故障かなと思ったら

■故障かなと思ったらときは、つぎの点をお調べください。

こんなとき	お確かめください
全く冷えない	●使いはじめは、冷えるまでに時間がかかります。(2～3時間以上、夏場は約10時間) ●電源プラグが抜けたり、ブレーカーが切になっていませんか？
よく冷えない	●冷気が漏れると庫内温度が上昇します。 冷凍室ドア周囲にすき間ができていませんか？(→P5) ドアパッキンに食品がはさまっていませんか？ 長い時間ドアを開けていませんか？ 頻繁にドアを開閉していませんか？ ●夏場、冷凍室温度調節ツマミが『強』のままになっていませんか？(→P5) 冬期以外は、『通常』にもどしてください。 ●冬場、冷凍室のアイスクリームがやわらかく感じる。 周囲温度に合わせて、冷凍室温度調節ツマミを『強』にしてください。(→P5) ●冷凍室に食品を詰め込みすぎではありませんか？ 食品のすき間を少しあけてください。(冷気を流れやすくする。) ●本体の周囲は、すき間をあけていますか？(放熱すき間→P3) ●直射日光やエアコンの温風が当たっていませんか？ 設置場所がコンロ・ストーブなどの近くではありませんか？
音がうるさい	●しっかりした床にガタつかないよう据え付けられていますか？(→P3) ●本体が壁などにふれていませんか？ ●本体の周囲に容器などが落ちていませんか？
庫内に 露や霜が付く	●ドアパッキンに汚れが付着したり、傷んでいませんか？ ●ドアに何かがはさまっていたり、食品がドアにあたって半ドアになっていませんか？ ●雨の日など湿度が高い時にドアの開閉が多かったり、長く開けていませんか？ ●ラップなどで密閉せずに水気の高い食品を入れていませんか？
庫内がにおう	●ラップなどで密閉せずにおいのある強い食品を入れていませんか？ ●食品のにおいが、庫内に付着していることがあります。庫内をお手入れしてください。(→P7)
水が漏れる	●蒸発皿は正しく取り付けられていますか？(→P7) ●ドアパッキンに汚れが付着したり、傷んでいませんか？ ●ドアに何かがはさまっていたり、庫内の食品がドアにあたっすき間があいていませんか？
冷凍室ドアが 閉まらない	●冷凍ケース(大)手前左右の凸部が レールフレームの切り欠き部に 正しく入っていますか？(→P7) 

■以上のことをお調べになり、それでも具合が悪いときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店またはエディオンサービスセンターに点検・修理をご依頼ください。

修理料金のしくみ

●修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技 術 料	故障した製品を正常に修理する為の料金です。
部 品 代	修理に使用した部品および補助材料の料金です。
出 張 料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

廃棄時にご注意願います

- 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷凍冷蔵庫を廃棄する場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- ドアが密閉できないように、ドアパッキンをはずしてください。また、幼児が遊ぶところには放置しないでください。幼児が閉じこめられると危険です。

修理サービスについて

(1)保証書

- この製品には、保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で『販売店名・お買い上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。なお、食品の補償など製品の修理以外の保証はいたしかねます。保証期間は、お買い上げ日より本体1年間です。ただし、冷媒循環回路(圧縮機・凝縮器・冷却器・毛細管配管)、冷却循環用ファン及びファンモーターは5年間です。

(2)修理を依頼される時

- 保証期間中はお買い上げの販売店またはエディオンサービスセンターに修理をご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示がない場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店またはエディオンサービスセンターにご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 食品の補償など、製品の修理以外の保証はいたしかねます。

(3)補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後9年です。

(4)正常に動作しないときは、9ページの「故障かなと思ったら」にしたがいお調べください。それでも正常にもどらないときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店またはエディオンサービスセンターに点検修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

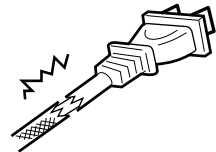
(5)修理サービスについてご不明な場合

- 修理サービスや製品についてのご相談は、お買い上げの販売店またはエディオンサービスセンターにご依頼ください。



傷んだ電源プラグや電源コードは絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。

- 電源プラグや電源コードが破損したときは直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはエディオンサービスセンターに修理をご依頼ください。
- 火災や感電の原因になります。



ご相談窓口 ～商品に関するお問い合わせ～

■エディオンお客さま相談センター



0570-07-0557 (有料)

受付時間：月曜日～金曜日9:30～18:30 (土日祝・年末年始除く)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島二丁目3番33号 大阪三井物産ビル8階

- お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
- 所在地・電話番号・受付時間などについては、変更となることがあります。(2021.10時点)

修理窓口 ～修理に関するお問い合わせ～

■エディオンサービスセンター



0570-06-0119 (有料)

受付時間：月曜日～日曜日9:00～20:00 (年中無休)

※年末年始に関しては受付時間が変更される場合がございます。

- お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
- 電話番号・受付時間などについては、変更となることがあります。(2021.10時点)

仕 様

品 番	ANG-RE151-B1(W/G/R/K)	
定 格 内 容 積	全定格内容積 149L	
	冷凍室定格内容積 57L 〈44L〉	
	冷蔵室定格内容積 92L 〈72L〉	
外形寸法(ハンドル含まず)	幅485×奥行き620×高さ1190mm	
定 格 電 圧	100V	
定 格 周 波 数	50/60Hz共用	
定 格 電 流	1.8A	
電動機の定格消費電力	50Hz 49W	60Hz 49W
電熱装置の定格消費電力	100W	
消 費 電 力 量	冷蔵室ドア内側の品質表示銘板に表示	
温度ヒューズ定格動作温度	87℃	
質 量	40kg	
冷凍室の性能を表す記号	※*** フォースター	
冷凍負荷温度(食品温度)	-18℃以下	
冷凍食品の保存期間の目安	約3ヶ月	

- 冷凍室の性能は、JIS C9607に基づいて表示しております。
- 冷凍食品の保存期間は、食品の種類、店頭での保存状態、冷凍庫の使用条件などによって異なり、一応の目安です。
- 定格内容積の〈 〉内は食品収納スペースの目安です。(貯蔵室ごとの実際に食品を収納することができる空間の容積)
- 消費電力量は、「JIS C9801-2015年」に基づいて表示しております。実際にお使いになるときの消費電力量は、周囲温度や湿度、ドアの開閉頻度、新しく入れた食品の温度や量などによって変化しますので目安としてください。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY .